

Q だじゃれなぞなぞ!

- ①名前だけを聞くと、すごく怖い医者さんに思える職業は何でしょう?
- ②タコがマラソンを走ったら、何番になるでしょう?
- ③いつも力いっぱい詰め込む、どんぶりは何でしょう?
- ④1～10番まで駐車場があります。車を止められないのは何番でしょう?
- ⑤「しすせそ」という、うどんは何でしょう?
- ⑥10個のお菓子があります。お兄さんは何個食べたでしょう?
- ⑦床屋に拳銃をもった強盗が入りました。発砲は何回あったでしょう?

【第466回解答】

①	キ	チ	ン			
②	ア	ッ	プ	ル		
③	シ	ッ	ク	ス		
④	キ	ャ	ッ	ト	フ	ー
⑤	レ	ッ	ツ	ゴ	ー	
⑥	イ	ク	メ	ン		
⑦	ジ	ャ	ン	プ		

答え：チックトゴメン

【第466回当選者】

濱田 政子 (里改田)
中田 朋子 (浜改田)
坂本 未妃 (十 市)
黒木 美佳 (前 浜)
高木 恵子 (前 浜)

■応募締切／4月14日(木)必着

■あて先／〒783-8501

南国市大堀甲2301

南国市企画課「親子クイズ」係

■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／72通

★正解率／97%

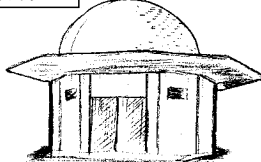
親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

市民からのお便り

先月の親子クイズ「りんごを英語で」を2歳4カ月の息子に教えてもらいました。当選したら絵本を買ってあげたいです。

※お問い合わせは、人権啓発広報委員会(☎880・6569)まで

納骨堂



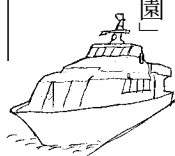
厳しい差別と偏見のために家族の元にもふるさとも帰れなかつた入所者の骨が2千体以上納骨されています。

戦後にはハンセン病の治療方法が確立したにもかかわらず、国は隔離政策を「らい予防法」廃止の1996年まで続けました。

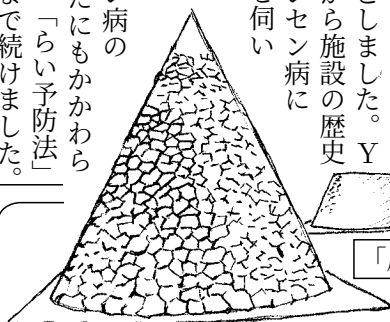
自治会長Yさんは、戦後、19歳で入所し、60年近い歳月をここで過ごしました。Yさんから施設の歴史やハンセン病についてなどのお話を伺いました。



国立療養所「大島青松園」のある大島は、高松港から連絡船に乗って約25分で着きます。



「大島青松園」を訪ねて



「風の舞」

「風の舞」には、納骨堂の骨つばに入りきらなかった骨を納めています。骨になってもここから出られなかつた入所者の魂が、自由に飛んでいけるようにと願って、「風の舞」と名付けられました。



ハンセン病は、長い間遺伝病だという誤解もあったため、ハンセン病患者は法によって子どもを持つことを許されませんでした。

つづいてふれあいつながりで6人権学習シリーズ